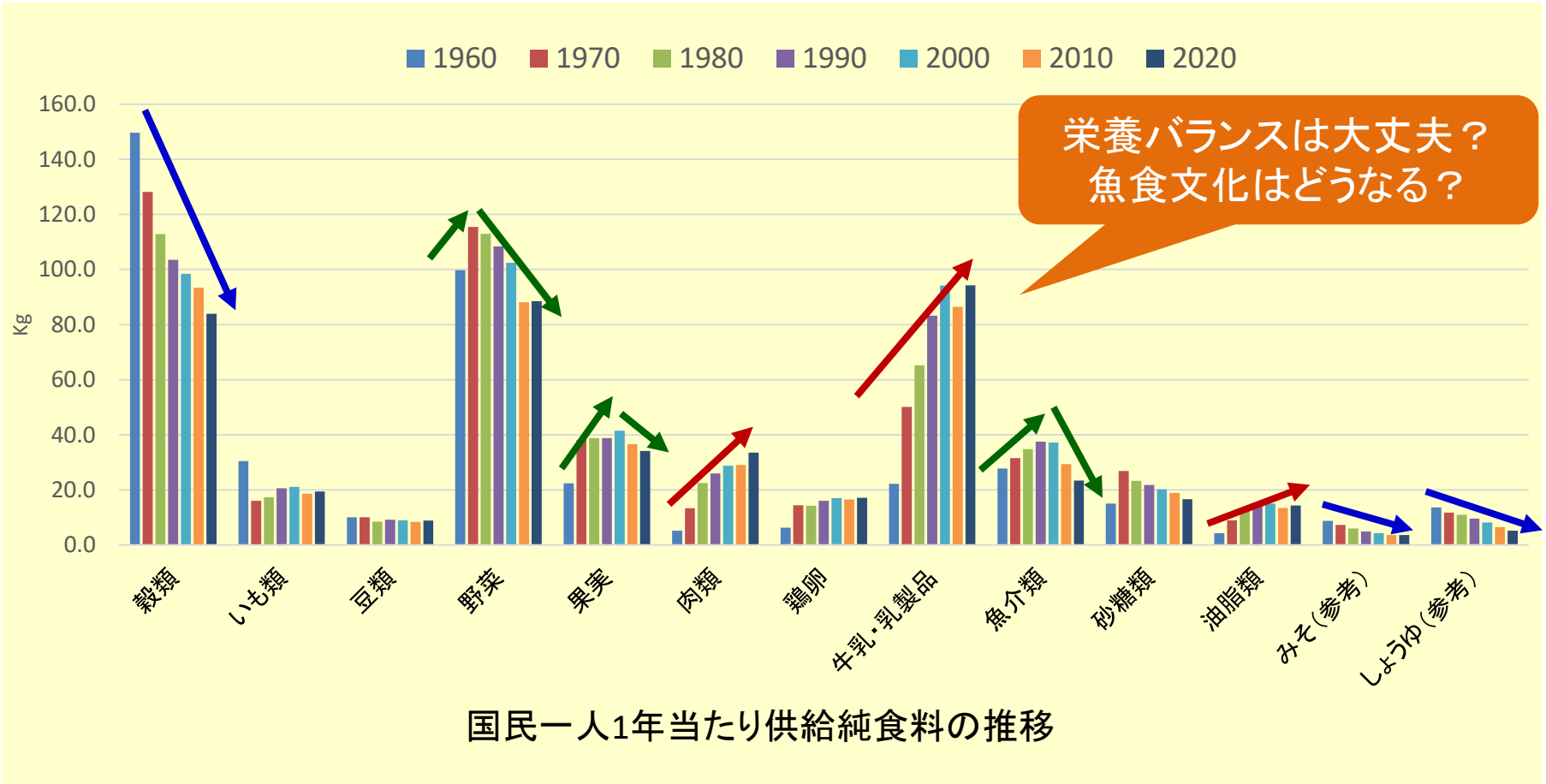


[家庭] 食生活の質的な(内容の)変化

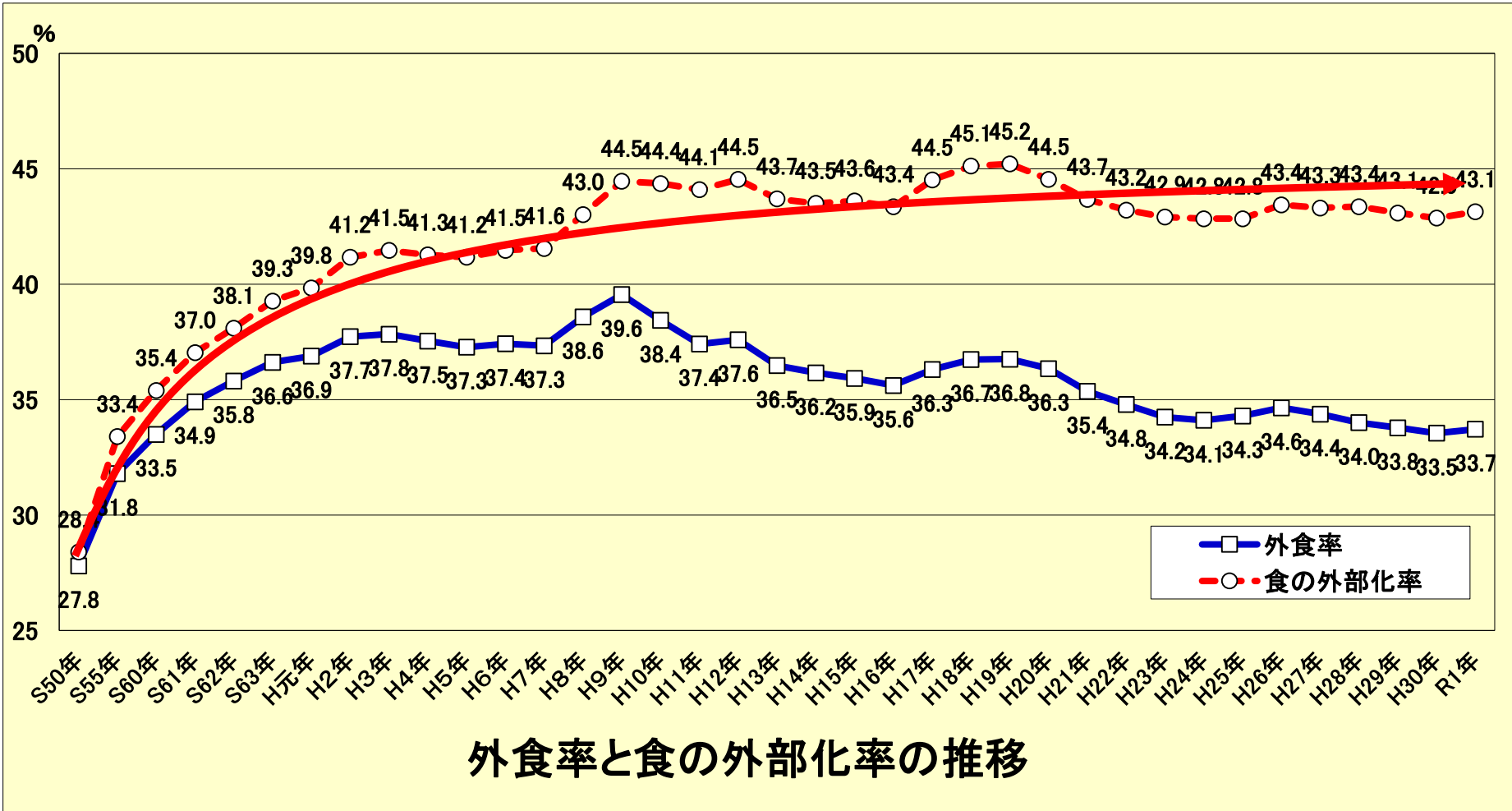
◇国民一人1年当たりの供給純食料の推移



国民の食生活は、従来からの指摘通り、現在も米の大幅な減少と、畜産物の増加の傾向は続いている。→**洋風化(多国籍化)の進行**

[家庭] 食生活の質的な(食べ方の)変化

◇ 外食率・外部化率の推移



国民の食料消費は、次第に外部化している(現段階で外部化率44%)、⇒内食的消費部分は次第に減少している。

[地域]子どもへの伝統食継承の実態

◇東北地域A町での学童期児童(5・6年生)全員を対象とした嗜好調査(2007年)

表 子どもの嗜好の度合い

5:とても好き...1:全く好きではない、0:食べたことがない

No.	メニュー	平均値	No.	メニュー	平均値	No.	メニュー	平均値
1	すし	4.63	21	卵焼き	4.24	41	煮魚	3.53
2	フライドポテト	4.59	22	スパゲティ	4.22	42	野菜のおひたし	3.49
3	ピザ	4.59	23	おさしみ	4.21	43	ひじき	3.44
4	グラタン	4.52	24	日本そば	4.17	44	まんじゅうのてんぷら(伝)	3.35
5	焼き肉	4.50	25	パン	4.15	45	うなぎ	3.33
6	やきとり	4.47	26	おでん	4.11	46	野菜の煮物	3.20
7	ラーメン	4.46	27	麻婆豆腐	4.11	47	酢豚	3.12
8	うどん	4.41	28	エビフライ	4.09	48	煮豆	3.04
9	ハンバーグ	4.40	29	鍋物	4.05	49	ひしまき(伝)	3.01
10	こづゆ(伝)	4.39	30	牛丼	4.03	50	切り干しだいこん	2.98
11	ハンバーガー	4.38	31	焼き魚	3.94	51	ぜんまいのにももの(伝)	2.74
12	ごはん	4.38	32	親子丼	3.93	52	おかから	2.65
13	みそ汁	4.36	33	野菜いため	3.92	53	ざくざく(伝)	2.52
14	オムライス	4.36	34	コロッケ	3.92	54	こぶまき	2.30
15	ぎょうざ・しゅうまい	4.35	35	つけもの	3.90	55	にしんのさんしょうづけ(伝)	2.23
16	カレーライス	4.35	36	天ぷら	3.89	56	棒たら(伝)	2.04
17	鶏の唐揚げ	4.32	37	ゆで卵	3.87	57	イナゴ(伝)	1.90
18	もち	4.32	38	野菜サラダ	3.80	58	コイのうま煮(伝)	1.59
19	ステーキ	4.26	39	納豆	3.78	59	朝鮮人参のてんぷら(伝)	1.22
20	ピラフ・焼きめし	4.25	40	冷や奴	3.63	60	しんごろう(伝)	1.11

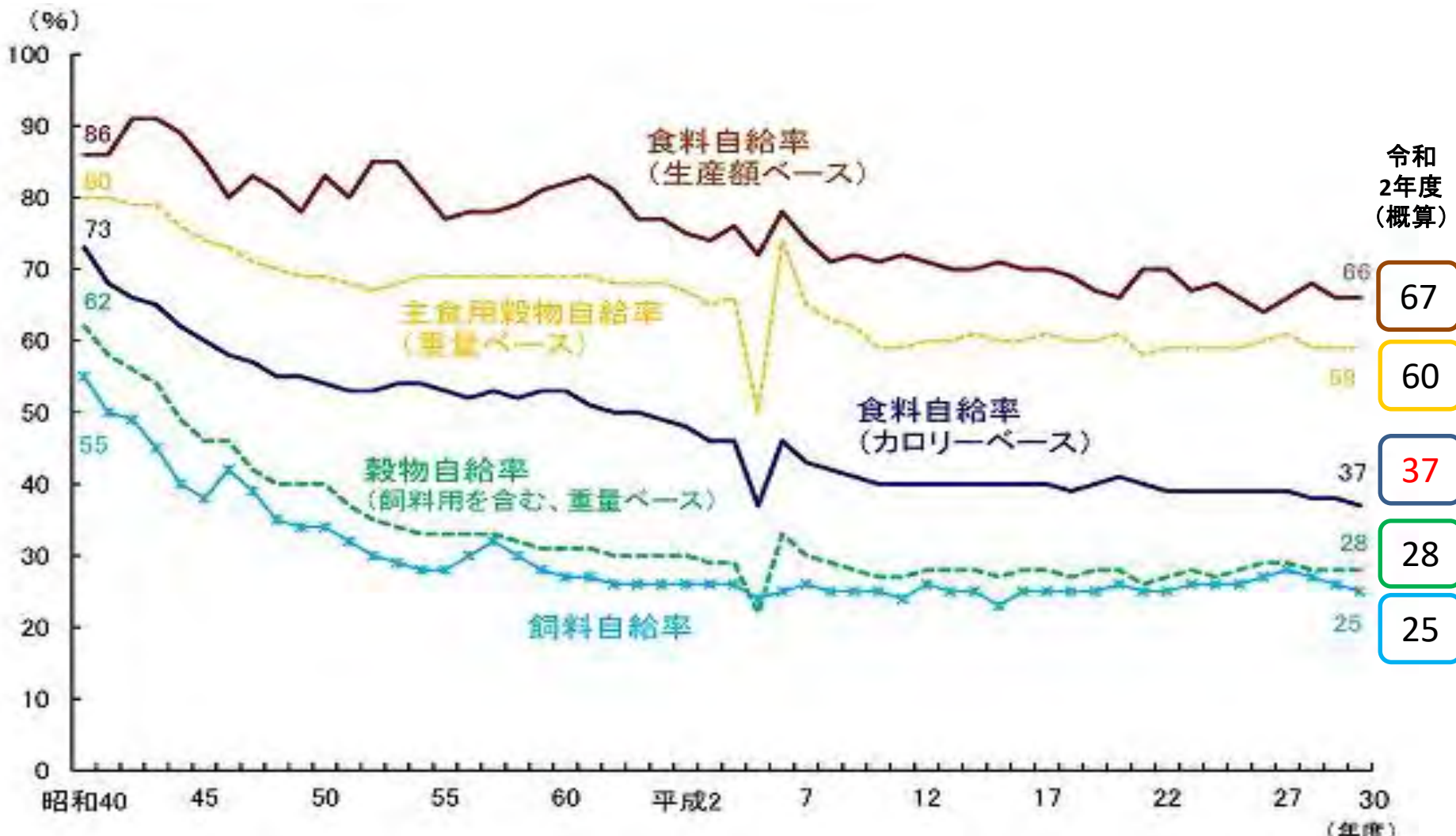
※(伝)はこの地域の伝統料理のことである。

全メニュー平均 3.68

地域の伝統料理や日本の伝統食材・料理も子どもたちには次第に受け継がれなくなっている。

[日本]における国産国消の実態

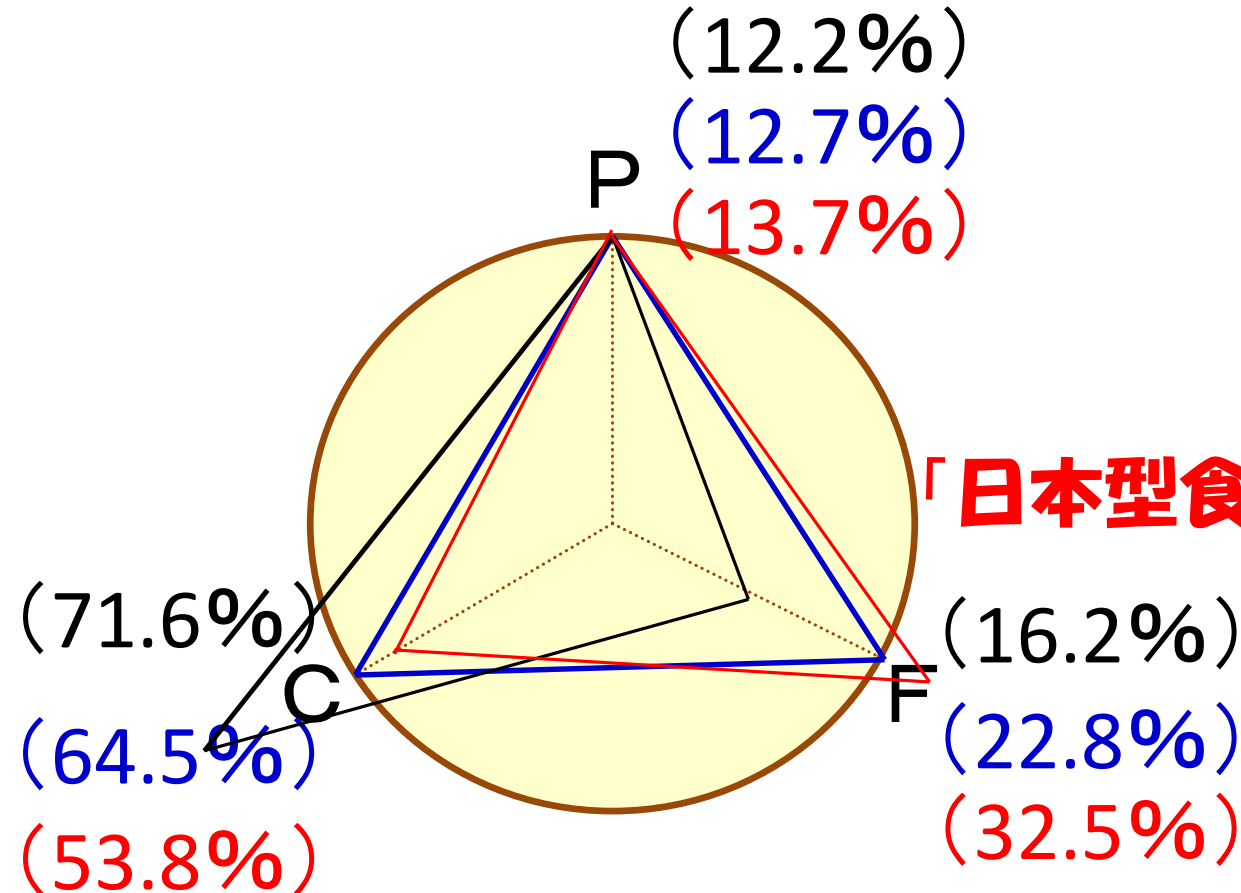
◇食料自給率の動向



食料自給率(現段階で37%)からみても国産国消は困難な状況。

■変わりゆく日本人の[栄養バランス]

◇PFCバランスの過去から現在



主食が大幅に減る
主菜は肉料理がメイン
煮物等はいま見られない
副菜はサラダ等



「日本型食生活」の崩壊へ

2020年(概算)

日本型食生活は、栄養バランスが良いだけでなく、欧米とは異なり、米を中心として、多様な食材品目を摂取していることにある。

失われゆく当たり前の食生活と食をめぐる諸問題

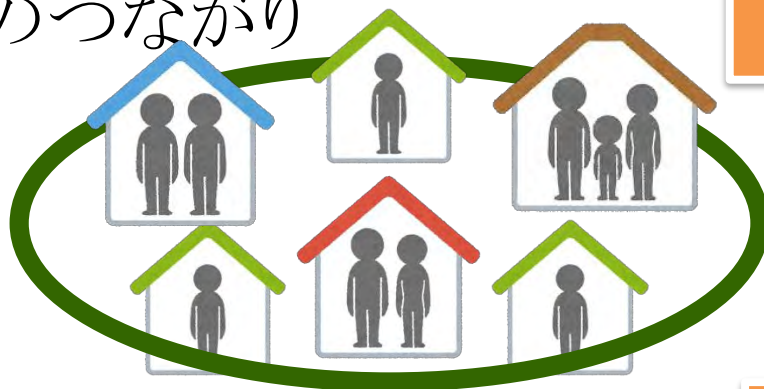
世代間のつながり



親から子、子から孫へ受け継がれる
家庭の味・調理技術



地域内のつながり



地域の農と共に受け継がれる地域行事
地産地消・行事食・伝統食・郷土料理



生産者と消費者のつながり

「知る」機会の喪失

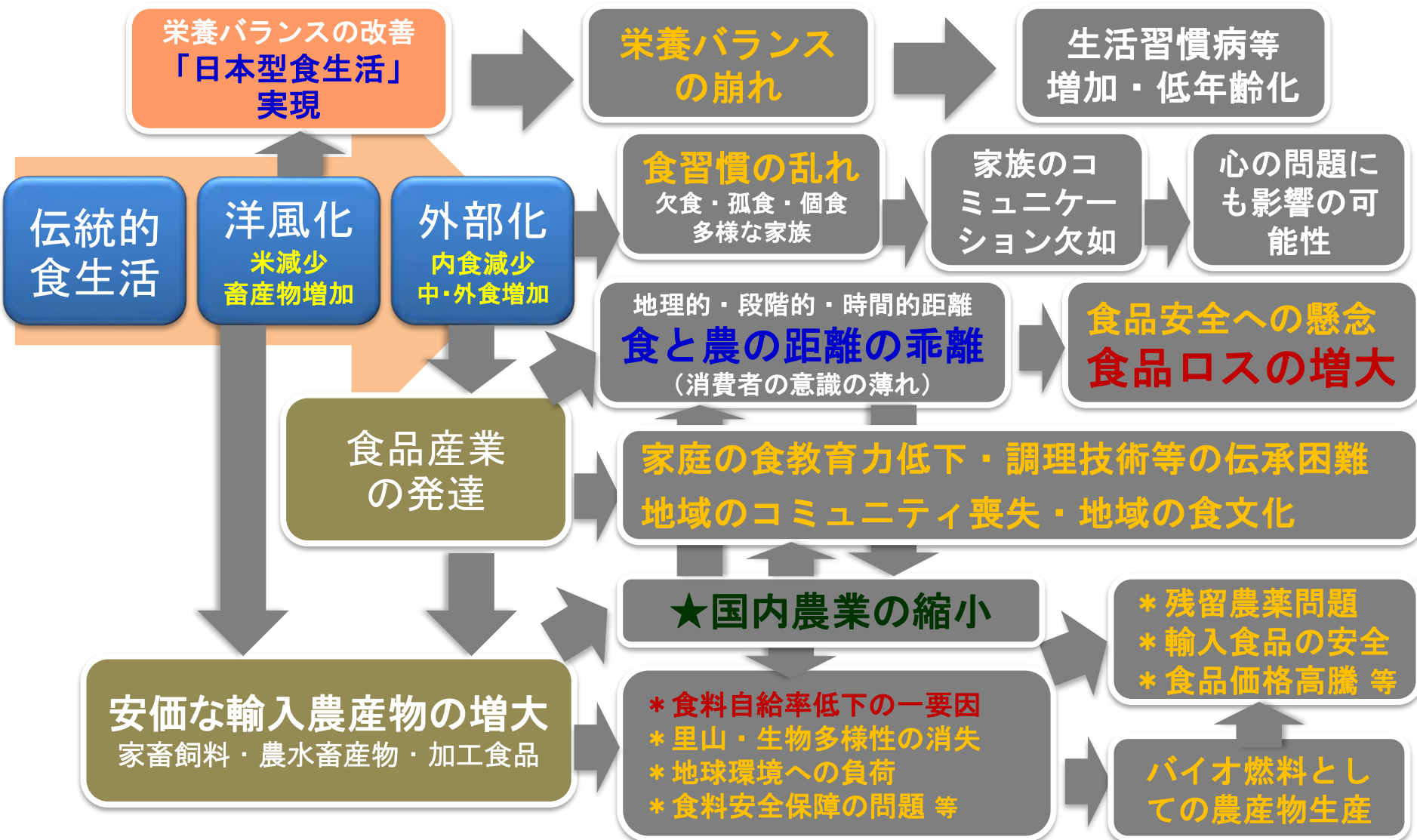


生産者と消費者の対話によって
国産国消・信頼・安心・もったいない



“つながりがなくなる”中で様々な食や農の問題が顕在化してきた

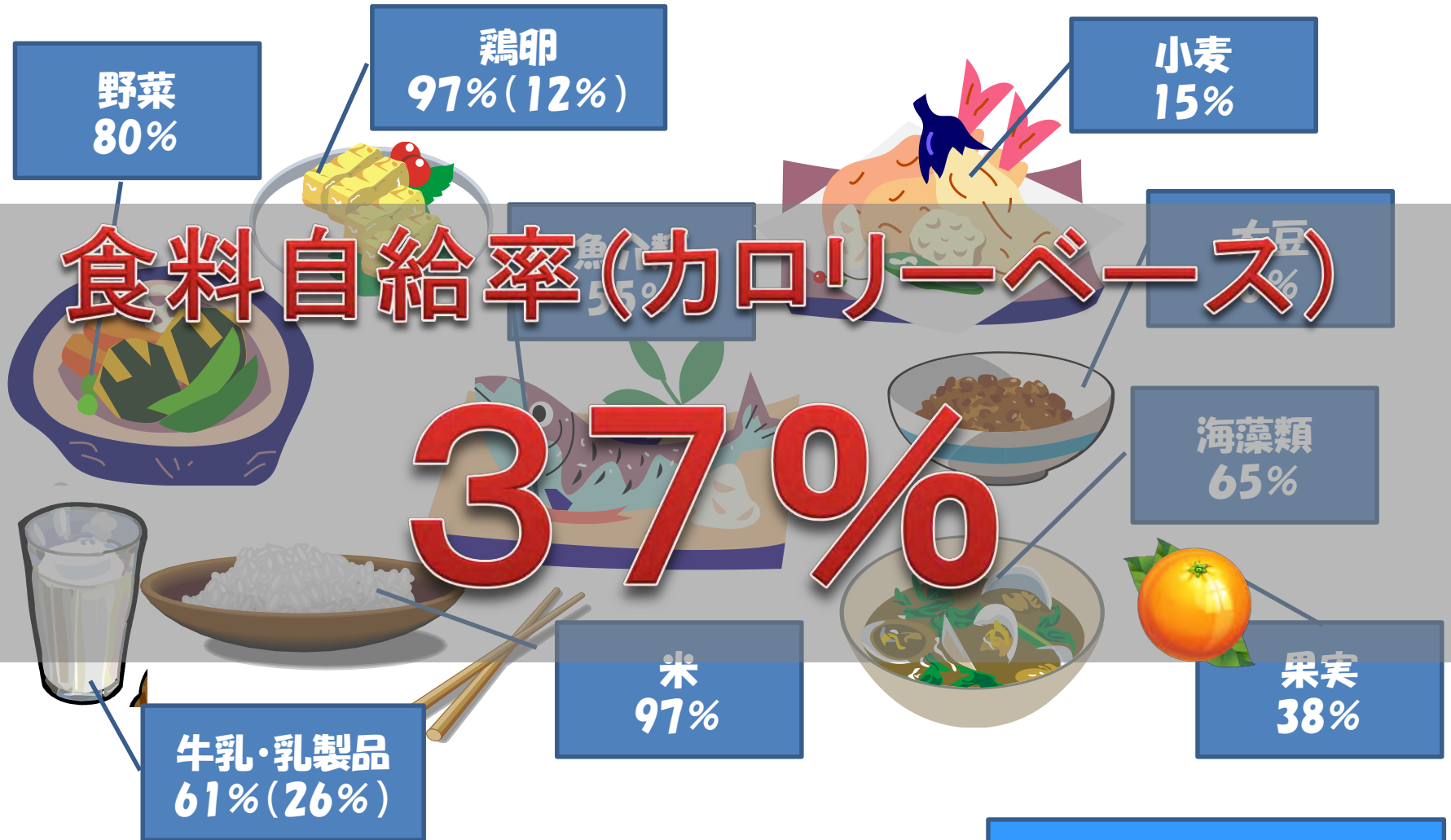
食生活変化をめぐる諸問題発生メカニズム



今のままでは、日本の農業だけでなく私たちの食料は
足りなくなってしまうかも!?

飽食と農業・環境との関わりとは!?

私たちの豊かな食生活は
もはや**本来(当たい前)**の食生活で成り立っていない



※データは令和2年度(概算)